

# 小平市議会定例会一般質問通告書

再質問の方式

1 一括質問一括答弁方式

② 一問一答方式

質問件名 人権教育に基づく幼児期からの切れ目のない包括的な性教育をすすめるべき

## 質問要旨

HIVやHPVなどの性感染症、望まない妊娠やデートDV、性暴力、性的虐待など性まつわる課題に対応するためには、正しい知識と意識を持つことが重要です。

そのためには、大人自身も学び続けるとともに、子どもたちに対して様々な年齢に応じた学びを教育の現場で行っていくことが不可欠です。

また単なる性に関する知識の習得にとどまらず、誰もが人格を尊重され心身ともに健康に生きる権利があり、何より「自分は唯一無二の大切な存在だ」と思えることが性教育の土台にあるべきです。

近年スマートフォンやタブレットの普及により、SNS や動画視聴、ゲーム利用などにおける低年齢化もすすむなか、まだ性についての知識のない子どもたちが露骨で偏りのある性表現の広告や動画などに意図せずとも触れてしまう危険性も急速に高まっています。

自分のからだや人権についての学びは中学校にとどまらず、小学校以下の幼児期から切れ目なく行われるべきであると考え、以下質問します。

- 1 市立小・中学校における包括的性教育や人権教育への市の取組について、見解をお示してください。
- 2 現在市立小学校の低学年や市立保育園において子どもたちを対象に行われている性教育や人権教育があればお示してください。
- 3 国の主導で来年度から開始される「生命(いのち)の安全教育」の取組について、市における検討状況は。
- 4 中学生は性教育の一環として性感染症について学ぶ機会があるが、その際ワクチンだけではない予防の方法を教えるべきと考えるが、見解は。

上記のとおり、小平市議会会議規則第 57 条第 2 項により通告します。

令和 3 年 11 月 17 日 小平市議会議長 殿 小平市議会議員 氏名 山浦 まゆみ

受付番号【           】

27	26	25	24

-(        /        )